

各 位

 フィデアホールディングス株式会社
 株式会社 荘内銀行
 株式会社 北都銀行

平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）第 1 四半期 決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：田尾 祐一、以下「フィデアHD」）は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）第 1 四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：上野 雅史、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD
(1) 平成 29 年 3 月期第 1 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）連結業績

経常収益は、金融緩和政策の影響により貸出金利息が減少したことなどから前年同期比 1 億 82 百万円減少し 128 億 93 百万円。経常利益は、資金利益や有価証券関係損益が減少したことなどから前年同期比 11 億 79 百万円減少し 24 億 18 百万円。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比 5 億 19 百万円減少し 20 億 32 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金や公金預金を中心に前年同期末比 736 億円増加し 2 兆 6,762 億円。貸出金残高は、個人ローンや事業性貸出を中心に前年同期末比 340 億円増加し 1 兆 7,514 億円。

			番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【連結】	損 益	経常収益	(1)	12,893 百万円	13,076 百万円	△ 182 百万円	△ 1.3 %
		業務純益	(2)	2,564 百万円	2,867 百万円	△ 303 百万円	△ 10.5 %
		コア業務純益*	(3)	1,906 百万円	2,804 百万円	△ 898 百万円	△ 32.0 %
		経常利益	(4)	2,418 百万円	3,598 百万円	△ 1,179 百万円	△ 32.7 %
		親会社株主に帰属する四半期純利益	(5)	2,032 百万円	2,552 百万円	△ 519 百万円	△ 20.3 %
	主要勘定残高 (末 残)	総資産	(6)	29,700 億円	29,296 億円	404 億円	1.3 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(7)	26,762 億円	26,026 億円	736 億円	2.8 %
		貸出金	(8)	17,514 億円	17,174 億円	340 億円	1.9 %
		有価証券	(9)	9,850 億円	10,661 億円	△ 811 億円	△ 7.6 %
	自己資本比率	連結自己資本比率(国内基準)	(10)	9.75 %	9.86 %	△ 0.11 %	
【合算】	不 良 債 権	金融再生法開示債権額	(11)	37,651 百万円	40,789 百万円	△ 3,138 百万円	△ 7.6 %
		総与信に占める割合	(12)	2.09 %	2.31 %	△ 0.22 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額 (以下、同様。)

(2) 平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）業績予想

フィデアHD（連結）、荘内銀行（単体）、北都銀行（単体）のいずれも、平成 29 年 3 月期第 1 四半期の経常利益及び純利益が、平成 28 年 5 月 11 日に公表した第 2 四半期累計期間の業績予想を上回っておりますが、今後の国内外の経済及び金融市場の動向を見極める必要があることから現時点において業績予想の変更はございません。

		番号	第2四半期累計期間	通期
フィデアHD(連結)	経 常 利 益	(13)	2,200 百万円	5,600 百万円
	親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	(14)	1,500 百万円	4,100 百万円

(次ページへ)

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

I Rグループ 大石 (TEL:022-290-8800)、佐藤 (TEL:023-626-9006)、市田 (TEL:018-833-4211)

2. 荘内銀行

(1) 平成 29 年 3 月期第 1 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）単体業績

経常収益は、金融緩和政策の影響や金融市場の変動を受け、貸出金利息や有価証券関係収益が減少したことなどから 83 百万円減少し 64 億 53 百万円。経常利益は、物件費を中心に経費が増加したことを含め前年同期比 5 億 87 百万円減少し 10 億 66 百万円。四半期純利益は、前年同期比 12 百万円増加し 10 億 79 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金や公金預金を中心に前年同期末比 578 億円増加し 1 兆 4,013 億円。貸出金残高は、個人ローンや事業性貸出を中心に前年同期末比 340 億円増加し 9,689 億円。

【単体】	損	益	番号	荘内銀行			
				前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
			(15)	6,453 百万円	6,536 百万円	△ 83 百万円	△ 1.2 %
			(16)	1,211 百万円	1,309 百万円	△ 97 百万円	△ 7.4 %
			(17)	1,047 百万円	1,322 百万円	△ 275 百万円	△ 20.8 %
			(18)	1,066 百万円	1,653 百万円	△ 587 百万円	△ 35.5 %
			(19)	1,079 百万円	1,066 百万円	12 百万円	1.1 %
主要勘定残高 (末残)			(20)	14,013 億円	13,435 億円	578 億円	4.3 %
			(21)	9,689 億円	9,348 億円	340 億円	3.6 %
			(22)	5,047 億円	5,471 億円	△ 423 億円	△ 7.7 %
自己資本比率			(23)	10.08 %	10.46 %	△ 0.38 %	
			(24)	23,825 百万円	25,017 百万円	△ 1,192 百万円	△ 4.7 %
不良債権			(25)	2.41 %	2.62 %	△ 0.21 %	

(2) 平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）単体業績予想

荘内銀行(単体)	経常利益	番号	第2四半期累計	通期
			期間	
		(26)	900 百万円	2,800 百万円
	当期(中間)純利益	(27)	700 百万円	2,000 百万円

3. 北都銀行

(1) 平成 29 年 3 月期第 1 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）単体業績

経常収益は、金融緩和政策の影響により貸出金利息が減少したものの、有価証券関係収益が増加したことなどから前年同期比 18 百万円増加し 61 億 20 百万円。経常利益は、有価証券ポートフォリオの良質化を目的とした債券や株式の入れ替えにより売却損が増加したことを含め前年同期比 5 億 28 百万円減少し 11 億 91 百万円。四半期純利益は、前年同期比 4 億 22 百万円減少し 8 億 62 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に前年同期末比 102 億円増加し 1 兆 2,833 億円。貸出金残高は、個人ローンを中心に前年同期末比 2 億円増加し 7,991 億円。

【単体】	損	益	番号	北都銀行			
				前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
			(28)	6,120 百万円	6,101 百万円	18 百万円	0.3 %
			(29)	1,247 百万円	1,289 百万円	△ 42 百万円	△ 3.2 %
			(30)	753 百万円	1,213 百万円	△ 459 百万円	△ 37.8 %
			(31)	1,191 百万円	1,719 百万円	△ 528 百万円	△ 30.7 %
			(32)	862 百万円	1,284 百万円	△ 422 百万円	△ 32.8 %
主要勘定残高 (末残)			(33)	12,833 億円	12,731 億円	102 億円	0.8 %
			(34)	7,991 億円	7,988 億円	2 億円	0.0 %
			(35)	4,803 億円	5,191 億円	△ 387 億円	△ 7.4 %
自己資本比率			(36)	12.22 %	11.17 %	1.05 %	
			(37)	13,825 百万円	15,771 百万円	△ 1,945 百万円	△ 12.3 %
不良債権			(38)	1.70 %	1.94 %	△ 0.24 %	

(2) 平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）単体業績予想

北都銀行(単体)	経常利益	番号	第2四半期累計	通期
			期間	
		(39)	1,100 百万円	2,500 百万円
	当期(中間)純利益	(40)	700 百万円	2,000 百万円

以上